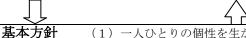
めざす学校像 「一人ひとりが輝く学校」

教育目標 「豊かな心と確かな学力を持ち、共にたくましく生きる児童・生徒の育成」



めざす児童・生徒像

- (1) 自ら課題を持ち、深く考え、問題解決を図ろうとする児童・生徒
- (2) 互いの思いや考えを理解し、共によりよい生活を創造しようとする児童・生徒
- (3) 進んで体や心を鍛え、何事にも意欲的に取り組もうとする児童・生徒
- (4) 地域の人々との触れあいを通して郷土のことを知り、郷土を愛する児童・生徒
- (5)変化する社会に対応できる知識や技能及び柔軟な思考を身につけた児童・生徒



- (1) 一人ひとりの個性を生かし、その伸長を図る
- (2) 自ら学ぶ意欲と考える力を育てる
- (3) 豊かな心を育てたくましく鍛える



- ①基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、自ら 考え、判断し、表現・行動できる能力を身につけさせる。
- ②学習のつまずきを早期に発見し、個に応じた指導を充実させる。
- ③体験的な活動を大切にし、指導方法の工夫改善に努め、学ぶ楽し さを実感させる。
- ④指導と評価の一体化を図る。
- ⑤小中の職員の連携を密にし、それぞれの持ち味を生かしながら指 導方法の多様性を探る。

豊かな心とたくましい体を育てる

- ①全教育活動と道徳教育の関連を図りながら、道徳 的実践力を育てる。
- ②互いの違いを認め合いながら、一人ひとりがかけ がえのない人間として尊重しあい、友達の喜びや 悲しみを共感を持って受け止められる児童・生徒 を育てる。
- ③基本的な生活習慣を身につけ、運動、スポーツに 積極的に参加しようとする児童・生徒を育てる。

よりよく生きようとする心や態度を育てる

- ①主に社会奉仕に関わる体験活動、自然に関わる体験活動、勤労生産に関わる体験活動、交流に関わる体験活動に取り組み、 豊かな自然や地域の人々とのふれあいを深め、温かく思いやりのある児童・生徒を育てる。
- ②主体的、創造的に取り組む態度を育て、よりよい自己の生き方を考えようとする児童・生徒を育てる。
- ③ ア 児童・生徒会活動を通じて、児童・生徒が自ら考え、行動し積極的に自己を生かそうとする態度や力を育てる。 イ 児童・生徒が連携・協力しながら活躍できる場面をつくる。
- ア 望ましい職業観や勤労観を身につけ、自己の進路について主体的に考え、判断していくための力をつける。
 - イ 家庭や地域、関係機関等の理解、協力を得ながらキャリア教育の推進・充実にむけての環境作りに努める。
- ⑤家庭・地域との連携を深めながら相互の理解、協力を図るとともに開かれた学校づくりをめざす。





主な行事

- 4月 始業式、入学式、育友会総会
- 5月 家庭訪問、アマゴ釣り大会、修学旅行(中学校)、 遠足、中間テスト(中学校)
- 6月 修学旅行(小学校)、プール掃除
- 7月 期末テスト(中学校)、総合体育大会(中学校)、 終業式、個別面談、宿泊体験(小学校)
- 8月 職業体験(中学校)、夕涼み会、宿泊体験(中学校) 夏季研修
- 9月 始業式、四校所合同運動会
- 10月 新人大会(中学校)、中間テスト(中学校)、 陸上記録会(小学校)
- 11月 学校開放月間、町文化祭、保小中合同文化祭、
- 12月 マラソン大会、個別面談、クリスマス会、終業式
 - 1月 始業式
 - 2月 縄跳び大会(小学校)、期末テスト(中学校) 冬季研修
 - 3月 予餞会・お別れ会、卒業式、修了式